

平成29年度 第29回新居関跡整備委員会議事録

- 1 日 時 平成30年3月2日（金） 午後1時～午後2時30分
- 2 場 所 湖西市民活動センター小会議室
- 3 出席者 整備委員 渡辺和敏委員 向坂鋼二委員 寺田敏幸委員
金原孝宜委員 （欠席委員）箱崎和久委員
事務局 渡辺宜宏（教育長）落合進（教育次長）
村田義治（スポーツ・文化課長）
高橋一敏（課長代理）鈴木紀子（文化係）
- 4 議 題 ①平成29年度事業について
・関所北区域の排水整備工事
・女改之長屋復元整備工事の実施設計作成
②平成30年度事業計画について
・女改之長屋復元整備工事

③女改之長屋の活用について
④浮き栈橋の改修方針について
(希望者のみ) 現地確認 浮き栈橋・北区域
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者 無

【開 会】

あいさつ

- ・教育長
- ・委員長

【議 題】

1 平成29年度事業について

※事務局より平成29年度事業について説明

- ・関所北区域の排水整備工事について

(委員長) この排水工事だけで範囲は十分か？

(事務局) 現在は、路盤が植栽より低いですが、将来路盤整備する際には、表層舗装を仕上げ、表流水は植栽地に流す計画。

路盤面が高くなり、十分に水は排水できる。

・女改之長屋復元整備工事の実施設計作成について

(委員長) 屋根の棟だけが瓦という計上は不思議なように思うが。

(事務局) こういう形状の類例は古建築にある。

建築専門部会で、発掘遺物から瓦が少量でていることから、瓦積みであつたのではないか、となつた。

(委員長) 瓦は丸瓦か、平瓦か。

(事務局) 丸と平の両方。

(委員長) 窓が少なく、だいぶ薄暗いのではないか。

講座をやるには、照明を考えておいたほうがよい。

(事務局) 電気設備は、スポットライト照明・コンセント・自動火災報知機を設置予定である。

(委員長) 文献史料の「遠州新居今切旧記」の「足軽並」か「並び」に
がどちらが正しいのか。足軽並は帯刀しないのではないか。

(事務局) 町史(翻刻)は「足軽並」。また原史料を確認する。

(→後日確認。「足軽並(なみ)に」)

(委員長) AとBの間仕切りは取り外しはできるか。

(事務局) AとBは可能だが、全体を通すこと(CとD)はできない。

(委員長) 柿葺は高級なイメージであるが、豪華すぎないか。

(事務局) 現在では、柿葺の方が高いが、当時は瓦葺の方が高級。

面番所や船会所などの正面側建物は瓦葺とし、裏側は柿葺にしたのは。土蔵は耐火性を考慮して瓦葺。

(委員長) 柿葺の耐久年数は、材質は。防腐剤処理をした方がいいのでは。

(事務局) 杉を厚さ3mm長さ30センチに刻んだもの。一般的には耐久30年。

こけらは木を割って刻むので、樹脂注入ができない。他の柵などは、防腐加工ができる。木と木の間に銅板を入れるが、それが溶け出し防腐剤代わりになる、

(委員) 本興寺の屋根も当初の想定年数より耐久年数は少なかった。

台風対策も考えないと。新居は台風のときのみ東からの風になる。

女改之長屋は直当りになる。

(事務局) 関所の古文書の修復記録を見ると、約10年毎に修復しているので、手を入れて30年くらいになるのでは。関所の地形は、湿気や山を背負ってないので、湿気はいいのではないか。ただ地盤はゆるく地下水

位は高い。

（委員長）修復には補助金は使用できるのか。

（事務局）保存活用計画を作成しないと、修理には補助金はつきにくい。（3/7→県からメンテナンスには、補助金はつかないと連絡あり。屋根はメンテナンスに当たる。）

（委員）内部壁は、漆喰ぬりか？

（事務局）中塗り・漆喰なし。外側は下見板が見え、内側は土壁が見えるようになる。

（委員）下見板も悪くなりやすい。

（事務局）下見板は防腐用樹脂を注入する。

（委員）こけら葺は竹釘か。

（事務局）そうである。

（委員長）実施設計は未完成であるが、この後変更する箇所はあるか。

（事務局）耐震補強案をこの後、建築専門部会に確認してもらうが、平面図AとEの部屋に耐震補強用の金属プレート（すじかい）が入る予定。

2 平成30年度事業計画について

※事務局より平成30年度事業計画について説明

・女改之長屋復元整備工事工程について

（事務局）工事は16か月であるが、現状変更・建築審査会・金額によっては議会議決がいるため、遅れる可能性もある。

3 女改之長屋の活用について

（委員長）文化財建物も活用していくように文化財保護法も変わっている。面番所ではどのようなことを行っているか

（委員）時代衣装の着付け体験をイベント時（GW／文化の日）にやっている。JRのDCキャンペーンでも着付けを行う。

足軽の衣装が入手できず、老朽化しているのだが・・・着付けが主。

（委員）資料の参考例では、建物を利用したものがないが、建物自体を利用する案も検討すべきである。出土品等の複製を展示したらどうか。

（委員長）職員が常駐しないので管理が難しいのでは。

（委員）バーチャルリアリティで改めをしている光景や、手を動かすと動くようなもの、関所全体の風景、他の方向を見ると新居の祭りが見られるなど。また、今人はスマホに記録して持ち帰るのが好き。

女改めの浮世絵に自分の顔を映して、記録して持ち帰ることができた

ら。関所にこだわらず、新居町の祭りや風景など、女改之長屋にいけば、見ることができるような新居の紹介ができれば。

(委員長) 物品販売は

(事務局) 島田市が文化庁に聞いたときには、売店は保存整備の趣旨とは異なるので難しそうだと聞いたが。

(ウッド) ミュージアムショップということなら可能ではないか。天童市でガイドンスを作った際は水田作物を販売していた。

(委員長) 明るいイメージのミュージアムショップがあるといい。

(委員長) 夏季と冬季の対策も考えた方がよい。冷暖房がなく、入館者が二度と来たくないような印象を与えてはいけない。

(委員) 夏は風が通らないのでかなり暑い。新居は西風が強い。

(委員) 他市のわらじ編みのような体験はいいと思う。

(委員長) 島田は川越人足と関連してわらじ。二川は製本。

(委員) ウォーキングの拠点にできないか。

館山寺温泉から船で新居まで来て、ガイドするイベントを行う。

(委員) 見学に料金はかかるのか。

(委員) ツアーの中に関所の入館料も含めた料金設定にしてある。

(委員) 建物が増えると料金も上がるか。

(事務局) 市長からは魅力のあるソフト事業等で収益をあげられるようにと課題が出ている。現在は、紙芝居や拓本とりなどは、参加料は無料であるが、入館料はもらっている。

(委員長) 体験に料金をとって、入館料を無料と考えてもいいかも。

4 浮き棧橋の改修方針について

(委員長) 先日、現場をみてきたがすぐに進入禁止にしたほうがいい。

入館料を取っている以上、安全を保障すべき。

(委員) 現状復旧は不要と考える。敷地の南東部分から写真をとると水面と面番所建物が一緒に入るので、カメラ映えを考えると、南の踊り場

もあった方がよい。

(委員) 案内をするとき、南の踊り場が写真ポイントと説明している。

(委員長) 可能であれば、現状のとおり復旧したいが、財政面も考慮すると次善の柵で②か。壁面がコンクリートで味気ないので、広重の絵を描いたらどうか。

(委員) 舞阪が見えるような絵は面白いと思う。富士山もあってもよい。

(委員) 橋は浮いているか。

(事務局) 踊り場は発砲スチロールであるが、橋で抑えてあるので、あまり踊り場は揺れない。

(事務局) コンクリート基礎で浮かない固定の橋にすることもできるが、南側の踊り場は固定したほうがよいか。

(委員長) 栈橋を撤去するなら、浮かせる必要はない。固定でよい。委員会の改修方針は2とする。

5 その他

(事務局) 前回の整備委員会で大御門の高札は何を書いているのか、来場者は理解しがたいので、スマートフォンで説明が出るようにしたらどうかと意見があったので、QRコードを作成して試験的に貼ってみた。また現場を見て、意見を聞かせて欲しい。

14:30 会議終了後、現地確認 15:20 解散